

スパムメール対策も! 標的型攻撃防御も! メール誤送信防止も! メール無害化も!

オールインワンで実現できる メールセキュリティソリューション 「TERRACE MAIL Security」



メールのセキュリティについて、 こんな課題や悩みがありませんか?



制限なく送られてくるスパムメールやウイルスメール対策などをはじめとする、Eメールのセキュリティの重要性が高まっています。そんな中で、メールセキュリティに対して次のような課題に直面する企業や組織が多いのではないのでしょうか?



メールの選別が大変。



誤送信をなくしたい。



セキュリティ対策のコストを下げたい。



標的型攻撃対策を講じておきたい。



導入しているセキュリティシステムに不満がある。

以上のようなお悩み・課題は
すべてこのソリューションで解決できます。

いま求められるメールセキュリティを漏れなく実現する 「TERRACE MAIL Security」

「TERRACE MAIL Security」は、スパムメールやウイルスメール、標的型攻撃メールの遮断に加え、メール無害化、誤送信メールの防止など、誤送信メールの防止など、メールセキュリティに必要な機能をオールインワンで提供するEメール専用統合セキュリティソリューションです。



数多い導入メリットこそが 他社製品に対する優位点



メールセキュリティに必要な各種機能をオールインワンで提供する「TERRACE MAIL Security」。優れたコストパフォーマンスや高精度の防御能力などにより、このソリューションを導入することでもたらされるメリットとその特徴は以下の通りです。

コスト低減とセキュリティレベル向上を実現

スパム・ウイルスメール対策機能が標準バンドルされている「TERRACE MAIL Security」の初年度費用は低額。さらにスパム・ウイルス対策にかかるライセンス費は導入の翌年度からは無料なので、同等機能の他社製品に比べ、導入費用とランニングコストを抑えられます。



高精度フィルタでスパムメールをシャットアウト

巧妙化するスパムメール遮断のために「接続段階」「SMTP段階」「Contents段階」「APT(標的型攻撃)段階」の4段階で検知を行う専用フィルタを搭載。さらに「パターンフィルタ」「学習型フィルタ」など、5種類のライブアップデートフィルタで新種のスパムにも対応。



標的型攻撃の脅威から組織を守ります

受信メールの履歴学習機能によって、なりすましメールなど、ひと目では気付けない不審メールを検知。受信者に注意喚起することで標的型攻撃から組織を守ります。さらに添付ファイルのダウンロードや本文のURLをクリックをできなくする「メール無害化」機能も。



メール無害化機能

自治体情報システム強靱性向上モデルで必要としているメール無害化機能としては、添付ファイル削除、HTMLメールをテキスト化します。無害化したテキストメールのみ総合行政ネットワークに転送して、マルウェアを含む全ての添付ファイルをユーザーが受信する前に除外し、攻撃メールを無害化します。



メールの誤送信リスクをなくします

添付ファイルの有無や拡張子名、キーワードなど、多様な条件設定が可能な「誤送信防止フィルタ」によって、誤送信の可能性があるメールの送信を一時保留する機能を搭載。さらに、重要なメールに関して上長の承認がないと送信が保留される機能なども備えています。

